

市民協働ファシリテーター養成研修 ～未来志向による対話で「伝え合う関係」を築く～

【日程】

1日目	平成29年10月30日(月)	午後1時～午後5時15分
2日目	10月31日(火)	午前8時45分～午後5時15分
3日目	11月15日(水)	午前8時45分～午後5時15分
4日目	12月下旬	午前8時45分～午後5時15分
5日目	平成30年 1月中旬	午後1時～午後5時15分

市民の意見を引き出すための、考え方、場の設定方法、ファシリテーションスキルなどを習得し、市民との「伝え合う力」を強化することにより、市民ニーズを的確に把握した政策及び事業形成を行う能力を身に着けます！

対象：入庁3年目～課長補佐級の職員 定員：30名

こんな人におすすめです！

- ✓ 市民の意見を踏まえた政策をつくりたい
- ✓ ワークショップをデザインしたい
- ✓ 様々な対話の手法を学びたい
- ✓ ファシリテーションを学びたい
- ✓ 「問い」が大事だと思う
- ✓ 思考法を学びたい

研修講師：(株)フューチャーセッションズ
野村恭彦氏、芝池玲奈氏



▼フューチャーセッション（未来志向による対話）の手法により、様々なセクターの協働の促進やアイデア創出などをサポート



▼現在、渋谷区の職員研修や産官民連携で地域課題を解決するプロジェクトなどを行っている。

▼イノベーションファシリテーターを養成する5日間の講座を実施。（受講料は1人30万円）

<https://www.ourfutures.net/pages/futuresessions>

研修プログラム

1日目 (10/30)	①対話の成功に必要な3つの要素を学ぶ ・共通のゴールを描くための「未来思考」 ・よい関係性を築くための「対話」 ・アイデアを形にする「デザイン思考」 ②対話のプロセスを学び、ワークショップを実施する
2日目 (10/31)	①ファシリテーションの理念とファシリテーターに必要な振る舞い方を学ぶ ②ファシリテーションを実践する ワールドカフェ、フィッシュボウル、マグネットテーブル etc
3日目 (11/15)	①4日目に行うワークショップをデザインする ・問いづくりを行い、8つの対話の手法を組み合わせ、ワークショップのプログラムを設計する
4日目 (12/下旬)	①複数のチームに別れ、市民の参加のもと、ワークショップを運営する。 ＜ワークショップのテーマ（予定）＞ ・「レジリエンス」って何？自分ごとと捉えるには・・・？ ・オープンデータを使って地域課題を解決するには？ ・エシカル（倫理的）消費を京都で定着させるには？ ・京町家の保全・継承を「みんなごと」と捉えるには？ ・道路建設分野のわかりやすい広報とは？
5日目 (1/中旬)	①4日目のワークショップの振り返り ②今後のアクションプランの作成

研修を受けた方は、市民協働ファシリテーターに任命されます

研修を受けた方は、市民協働ファシリテーターに任命され、次年度以降、所属長の了解を得た上で、以下の役割を本務として担っていただきます。

- 1 自所属において、政策及び事業の形成・評価等の過程などで、積極的に市民との対話の場を創出する。
- 2 他所属からワークショップ等の企画の相談があった場合に、アドバイスを行う。
また、相談先からの依頼に基づき、本人が希望する場合は、ワークショップ等の当日のサポートを行う。
- 3 総合企画局総合政策室 創生戦略・市民協働推進担当の業務について、必要に応じてアドバイスを行う。
また、総合政策室からの依頼に基づき、本人が希望する場合は、ワークショップ等の当日のサポートを行う。
- 4 翌年度以降の市民協働ファシリテーター養成研修のサポートを行う（希望者に限る）。

市民協働ファシリテーターの名簿は、イントラネットなどで庁内に公開するとともに、必要に応じて庁外にも公開します。
総合政策室から、上記の役割に関する計画や実績報告の提出をお願いする場合があります。